



# 青い森「青森」の経済活性化に向けて 「アクションプラン」を提言する

## 青森の —安全社会の構築、高等教育、自治体、

## 青森の 産業、農業、観光に向けて—

2012年度公開講座「青森の未来をデザインする一本州の最北端の地「青森」からの発信ー」では、現代社会の地球的規模での激しい変化を「新しい社会・青森を創造する良きチャンスの到来」と理解し、新しい社会の創造・再構築に向けて、各々の専門的研究者の立場から、新しい時代における「青森の未来をデザインする」のテーマで自由に論じました。

2013年度の公開講座では、「デザインは創作するだけのものではなく、そのデザインを実現させることに意味がある」との考え方から、2012年度の「青森の未来をデザインする」を踏まえて、引き続き同一講師が、「経営学、会計学、農業経済学、情報科学の研究者・教育者の立場」から、青森の社会・経済・産業・教育の活性化に向けての「具体的なアクションプラン」を提言いたします。



### 第1回 9月10日火

#### 青森の「安全立県」に向けての提言

—青森の特色を活かした「市民社会」の在り方—

松蔭大学教授・中央大学名誉教授 石崎 忠司

### 第2回 9月17日火

#### 青森の「教育立県」に向けての提言

—青森の特色を活かした「高等教育」の在り方—

青森公立大学学長 香取 薫

### 第3回 9月24日火

#### 青森の「自治立県」に向けての提言

—青森の特色を活かした「自治体」の在り方—

青森公立大学教授 遠藤 哲哉

### 第4回 10月1日火

#### 青森の「産業立県」に向けての提言

—青森の特色を活かした「地域産業」の在り方—

東京都市大学教授 井上隆一郎

### 第5回 10月8日火

#### 青森の「農業立県」に向けての提言

—青森の特色を活かした「農業」の在り方—

青森公立大学教授 河野 秀孝

### 第6回 10月15日火

#### 青森の「観光立県」に向けての提言

—青森の特色を活かした「観光」の在り方—

青森公立大学教授・札幌学院大学名誉教授 藤永 弘

#### 申込方法

開催日前日(必着)までに受講を希望する演題名、開催日と住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、連絡先の電話番号を記入し、郵便、FAXまたはE-mailでお申込みください。

郵便送付先:〒030-0196 青森市大字合子沢字山崎153番地4  
青森公立大学地域研究センター公開講座係

FAX送信先:017-764-1564 地域研究センター

E-mailアドレス:kouza@bb.nebuta.ac.jp

#### いずれの回も

時 間:18時30分~20時30分

場 所:アウガ5階

青森市男女共同参画プラザ研修室

対 象:一般社会人、大学学部生、  
大学院生、高校生

定 員:50名程度

受講料:無 料

主催▶青森公立大学 017-764-1561  
URL <http://www.nebuta.ac.jp/>

# 青森公立大学公開講座

## 青い森「青森」の経済活性化に向けて 「アクションプラン」を提言する

安全社会の構築、  
青森の

高等教育、  
青森の

自治体、  
青森の

産業、  
青森の

農業、  
青森の

観光に向け  
青森の

第1回 2013年9月10日火

### 青森の「安全立県」に 向けての提言

—青森の特色を活かした「市民社会」の在り方—

松蔭大学教授・中央大学名誉教授 石崎 忠司

日本人は「幸福感」が薄いといわれている。経済的に豊かであることは幸せの重要な条件である。しかし所得水準の向上だけでは、精神的に充足感のある生活は期待できない。「社会的資本」といわれる市民の信頼関係や弱者救済・相互システムが構築されていないと、高齢化社会で安全・安心な生活ができない。本公開講座では、市民の視点から、青森県の「安全・安心な市民社会の在り方」を考えたい。

第2回 2013年9月17日火

### 青森の「教育立県」に 向けての提言

—青森の特色を活かした「高等教育」の在り方—

青森公立大学学長 香取 薫

言うまでもなく、高等教育は初等、中等教育の基礎を前提として行われるものであり、高等教育が独立して存在するものではない。国は、グローバルな教育を目指し、初等、中等教育を変えようとしている。本公開講座では、そのような時代における、「高等教育の在り方」について論じ、議論を深めたい。

第3回 2013年9月24日火

### 青森の「自治立県」に 向けての提言

—青森の特色を活かした「自治体」の在り方—

青森公立大学教授 遠藤 哲哉

一人一人の「個性と能力」を活かし、素晴らしい「自治体づくり」を行っていくためには、青森の中にある潜在的な「自然資源、人材の魅力」を見つけ、磨き、「ストーリー(物語)」を作っていくことが大切である。ストーリーが魅力的で面白い取り組みは、多くの人々を引き付け、仲間が集まる。「志と情熱」、そして「感動ある地域、自治体」をどう創造していくらよいか、全国の事例も参考に、青森の未来と一緒に考えたい。

第4回 2013年10月1日火

### 青森の「産業立県」に 向けての提言

—青森の特色を活かした「地域産業」の在り方—

東京都市大学教授 井上隆一郎

産業で地域が繁栄するには、明確な競争優位を持つことが必要だ。他地域との競争に打ち勝って、「素晴らしい」、「美しい」、「美味しい」と言う点で、顧客がその優位性を認めなければ始まらない。それは農水産業、製造業、サービス業、どれでも同じだ。だが、視野が内向きだと「地元偏愛症候群」とも言うべき状態に陥り、競争という視点を忘れてしまがちである。本公開講座では、地域産業の特色を活かした競争優位の構築について考えたい。

第5回 2013年10月8日火

### 青森の「農業立県」に 向けての提言

—青森の特色を活かした「農業」の在り方—

青森公立大学教授 河野 秀孝

今日の世界では、未曾有の情報革命の波が我々の日々の生活の隅々にまで押し寄せている。地方の個人や企業が海外に直接情報発信可能な時代である。同時に地域社会「青森」にとっても、グローバル化時代への適切な対応が迫られている。本公開講座では、国際的視点から、「喫緊の課題は何か」、「叡智をどこに求めるか」を考えながら、特に青森県の農業が直面する問題に焦点を当て、「青森県農業の魅力的将来像」を考えたい。

第6回 2013年10月15日火

### 青森の「観光立県」に 向けての提言

—青森の特色を活かした「観光」の在り方—

青森公立大学教授・札幌学院大学名誉教授 藤永 弘

美しい四季と自然の景観、素晴らしい文化と歴史、新鮮・安全・安心な農産物、海産物そして畜産物などを有する青森は、「観光立県」として発展できる可能性を有している。このような青森の特性を活かした「豊かな地域の形成と観光ビジネスの発展」に取り組むことが青森県民の責務である。また、観光ビジネスは青森の活性化にも貢献する「裾野の広い産業」もある。本公開講座では、「青森観光の現状」を踏まえながら、「青森観光の未来戦略」を考えたい。